



## スギ花粉症の最新治療 舌下免疫療法

“お手軽”イメージとは異なる現実も。  
正しい知識と根気が不可欠。

今や、日本人の4人に1人がかかっているというスギ花粉症。個々の患者が数か月にもわたり悩まされるのは言うまでもなく、花粉症による労働生産性の悪化や医療費を合わせると、経済損失の大きさは国家規模の問題として対策が急がれています。そんな中、スギ花粉症の画期的治療として注目されている「舌下免疫療法」について、東京歯科大学市川総合病院の中島庸也医師に伺いました。



東京歯科大学市川総合病院  
耳鼻咽喉科部長  
なかじま つねや  
中島 庸也 医師

### 花粉症が起こるメカニズム

人の体には、体内に侵入してきた病原菌などの異物を排除したり、やっつけてくれたりする免疫機能が備わっています。免疫は、私たちが生きていくために不可欠な防衛反応です。

しかしその一方、この免疫システムが過剰に反応することで、逆に自らの体に様々な悪影響を及ぼすことがあります。この過剰な拒絶反応がアレルギーです。

花粉症もアレルギー疾患の一つで、スギやヒノキなどの花粉を異物と誤認した免疫機能が過剰反応して起こります。

主な症状のくしゃみや鼻水は、花粉を外に排出しようとして起こる反応であり、鼻づまりは、花粉の侵入を防ごうとして起こる反応です。

花粉症の90%はスギ花粉をアレルギー（アレルギーが起こる原因）とするスギ花粉症であり、患者数が非常に多いため、近年では国民病といわれています。

### 花粉症治療のいろいろ

スギ花粉症の治療としては、①アレルギー（スギ花粉）の除去と回避、②薬物療法、③特異的免疫療法、④手術療法があり、現在は薬物療法が中心となっています。

①のアレルゲン（スギ花粉）の回避の具  
体策としては、外出時のマスク・メガネ・帽子の着用、帰宅時の衣服の除去、洗顔・うがい・シャワー浴、室内への花粉の侵入を防ぐことなどが推奨されています。

薬物療法は、花粉シーズンのたびに治療薬を飲んで症状を抑える対症療法で、以前は眠気などの副作用が問題となっていました。近年では眠くなりにくい新薬も市販されています。

手術療法は、レーザーや電気メスで鼻の粘膜を焼き、アレルギーの起こる場所を減らしてしまう治療です。

これらに対し、微量のスギ花粉を含む薬剤を舌の裏側に垂らす治療法が、近年、メディアで大きく報道され話題となっている「舌下免疫療法」です。

### 舌下免疫療法の長所と短所

免疫療法とは、アレルギーの原因であるアレルゲンを少量ずつ投与して体をアレルゲンに慣らし、アレルギー症状を起こしにくくする治療法です。薬物療法などの対症療法と違い、体質そのものを変えることで完治を目指します。

スギ花粉症の免疫療法としてはこれまでも、注射による「皮下免疫療法」が行われていました。

舌下免疫療法は、いわばその進化形として2014年10月に保険適用となりました。注射の痛みがない、自宅で服用できるため通院の負担が軽い、重篤な副作用はほとんどない等、優れたメリットのある治療法です。

しっかりと効果が出れば、毎年のシーズンごとの花粉症との戦いからも解放されます。とはいえ、テレビ等で広く報道されているほどお手軽な治療かというと、そうは言い難い課題もあります。

舌下免疫療法は、花粉が飛んでいない時期を含めて最低でも3年間、決められた容量どおりに毎日欠かさず服用する必要があります。

即効性は無く、長期間、根気よく続けなければならぬため、治療途中で脱落してしまう方も少なくありません。中には、3年間続けても効果が出ない患者さんもいます。

また、口の中の腫れやかゆみ等、軽度の副作用は高頻度で見られます。

専門医師とよく相談し、そのメリットとデメリット、服用の仕方をよく理解し、根気よく続ける意思をもって治療にのぞむことが必要です。

## 舌下免疫療法の主なメリットとデメリット

### 【メリット】

- ・ 自宅で行える
- ・ 花粉症予備軍の人にも有効
- ・ 重い副作用はほとんどない

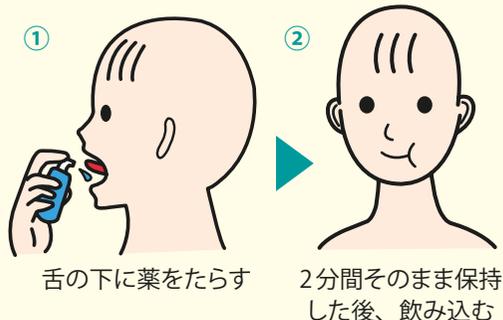
### 【デメリット】

- ・ 服用は最低3年間毎日する必要がある
- ・ 効果が出ない人もいる
- ・ 副作用は少ないが、軽度のものは高頻度で現れる（口の中が腫れるなど）
- ・ 即効性はない（※花粉シーズン中は、対症療法の薬剤と併用できる）

### 舌下免疫療法が適応（可能）となる方

- ・ 検査でスギ花粉症であると診断された方（スギに対する特異的IgE抗体が陽性）
- ・ 免疫療法が適応できる方（自己免疫疾患などの全身疾患の合併、抗がん剤やステロイド薬使用中、β阻害薬使用中、不安定な気管支喘息や重症口内炎、治療開始時に妊娠している場合などでは禁忌）
- ・ 成人および、12歳以上の小児の患者さん
- ・ 花粉症の症状を問わずお薬を毎日服用できる方（スギ花粉が飛散していない時期も毎日服用が必要）
- ・ 定期的な通院が可能な方（1回／月の通院が必要）

### 舌下免疫療法



※ 家族がいる場所や、日中の服用をお勧めしています。